

平成２６年度 片瀬・江の島まちづくり協議会準備会議事録

日 時：２０１４年（平成２６年）４月７日（月）午後７時４０分～８時２０分

場 所：片瀬市民センター ２階ホール

出席者：委員２３名（現在数２６名。３名欠席） 事務局７名

<配布資料>

- １）平成２６年度片瀬地区郷土づくり推進会議準備会次第
- ２）平成２６年度片瀬・江の島まちづくり協議会委員名簿
- ３）平成２６年度片瀬・江の島まちづくり協議会部会・構成委員一覧（案）
- ４）平成２６年度片瀬市民センター・公民館職員名簿
- ５）平成２６年度片瀬・江の島まちづくり協議会活動計画（案）

本日の準備会の進行について、会長が確定するまでの間、事務局が仮座長を務めることで確認し、開会した。

- １．委員自己紹介
- ２．平成２６年度活動計画について
資料５）に基づき、事務局より協議会の組織について説明あり。
- ３．役員及び部会長の互選について

平成２６年度の役員体制については、平成２５年度の体制で引き続き会長及び部会長を継続していくことを基本とし、年度末で退任した部会長の部会や新設部会については、事業や活動の継続性を踏まえて平成２６年度も再任・継続する委員の中から事務局が部会長候補案をお示ししていくことで平成２５年度に確認していたことに基づき、事務局から部会長候補案を提案した結果、案は承認され、次のとおり役員及び部会長が決定した。

会 長	長谷川 紀夫委員（片瀬地区自治町内会連絡協議会会長）
副会長	犬山 聡彦委員（人材・情報バンクセンター運営委員会委員長）
副会長	杉山 義子委員（地域福祉推進部会長）
副会長	波多 善子委員（青少年健全育成部会長）
副会長	鶴見 和則委員（公民館活用部会長）
副会長	原 英夫委員（まちづくり推進部会長） ※部会長更新
副会長	畠山 義昭委員（郷土文化推進部会長）
副会長	徳江 紀子委員（地域広報部会長） ※新設部会

以降、長谷川会長が議長を務めた。

- ４．新役員挨拶
- ５．今後の日程について

事務局より当面の日程について説明があり、全員で確認した。

午後８時２０分閉会

以 上

平成 26 年度 第 1 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成 26 年 4 月 14 日（月）午後 6 時 30 分～午後 8 時 20 分

場 所：片瀬市民センター 第 1 談話室

出席者：委 員 20 名

（委員現在数 26 名。6 名欠席）

事務局 8 名

傍聴者 1 名

<配布資料>

- 1) 平成 26 年度第 1 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会次第
- 2) 平成 25 年度第 12 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成 26 年度片瀬地区郷土づくり推進会議委員委嘱式議事録
- 4) 平成 26 年度片瀬・江の島まちづくり協議会準備会議事録
- 5) 平成 26 年度委員名簿
- 6) 片瀬・江の島まちづくり協議会委員部会参加状況
- 7) 平成 26 年度片瀬・江の島まちづくり協議会部会・構成委員一覧
- 8) 第 1 回まちづくり地区集会企画案
- 9) 平成 26 年度片瀬・江の島まちづくり協議会委員研修会～実施要領～
- 10) 片瀬・江の島まちづくり協議会まちづくり通信第 11 号
- 11) 片瀬・江の島まちづくり協議会平成 26 年度スケジュール調整表
- 12) 平成 26 年度片瀬・江の島まちづくり協議会活動計画（案）
- 13) 青少年健全育成部会平成 26 年度第 1 回部会結果報告
- 14) 郷土文化推進部会からのお知らせその 1・その 2
- 15) 4 月 10 日号回覧一式

<内容>

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 報告

（1）平成 25 年度第 12 回全体会について

会議内容について、資料 2) に基づき振り返りを行った。

（2）平成 26 年度委嘱式及び準備会について

会議等内容について、資料 3) ～4) に基づき報告があった。

（3）各部会からの報告

各部会が、資料 13) ～14) 等に基づき部会活動の報告を行った。郷土文化推進部会で実施した旧江の島道整備事業について、戻り松の枝に電話線が当たっている可能性があるとの委員からの指摘があり、今後確認し必要により対応することとした。また、地域福祉推進部会からは、3 月 24 日に行った片瀬地区ボランティアセンター従事者交流会についての報告があった。

(4) 各地域団体からの報告（トピック）

- ・（スポーツの会）4 月 29 日に片瀬中学校において開催するソフトボール大会の参加について呼びかけがあった。
- ・（生環協）4 月 12 日に第 34 回江の島、片瀬・鵜沼海岸クリーン活動を開催した結果、700 名近い市民や団体の参加があったことについての御礼と報告があった。また、5 月 25 日に開催される市主催のゴミゼロクリーンキャンペーンの参加について呼びかけがあった。
- ・（青少年支援フォーラム）4 月 10 号回覧で広報誌第 16 号を各戸配布したことの報告があった。

(5) その他

特になし。

4. 議題

(1) 平成 26 年度活動計画について

ア 部会活動について

資料 12) の 13 ページに基づき、平成 26 年度の部会編成について確認を行った。また、資料 7) に基づき部会構成員の確認を行い、5 月の全体会前までに部会を開催し、部会組織体制を固めることとした。

イ 全体活動年間スケジュールについて

資料 11) に基づき確認を行った。スケジュールは 3 つのステージに分け、第 1 ステージは、活動計画や考え方を地域に認知（オーソライズ）していく期間。第 2 ステージは、その計画を基にまちづくり活動を進めていく期間。第 3 ステージは、第 2 ステージで進めてきた活動を評価し、平成 27 年度計画策定へ反映する期間とし、各ステージにおいて各々地区集会を実施して、地域住民との意見交換及び地域の課題集約を行っていくことを確認した。

ウ まちづくり事業について

資料 12) の 6～8 ページに沿って、各部会長より事業説明を行った。

エ 地域課題について

資料 12) 12 ページに基づき確認を行った。地域課題No.3～7, 14 については、課題として認識はするものの移行した担い手が主体的に行うもの、地域課題No.1, 2, 8～13 については今後検討していくべき課題であり、検討する時期に関係する方に集まっていたき、検討していく場としてワーキンググループの設置し、方向性によってはまちづくり事業に位置付けていくことを確認した。

(2) 第 1 回地区集会について

資料 8) に基づき確認を行った。役割については次回全体会で決めることとした。

(3) 第十一号まちづくり通信について

資料 10) に基づき確認を行った。修正点等あれば 4 月 16 日（水）までに事務局へ連絡を入れることとした。

5. その他

委員研修の実施要領について、事務局から資料 9) を基に説明があった。研修資料を事前配付する都合につき、参加希望者は 4 月 18 日までに事務局へ連絡を入れることとした。

6. 閉会

以 上

平成 26 年度 第 2 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成 26 年 5 月 15 日（木）午後 6 時 30 分～午後 8 時 10 分

場 所：片瀬市民センター 第 1 談話室

出席者：委 員 22 名

（委員現在数 26 名。欠席 4 名）

事務局 7 名

<配付資料>

- 1) 平成 26 年度第 2 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議次第
- 2) 平成 26 年度第 1 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成 26 年度第 1 回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 4) 平成 26 年度第 2 回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 5) 平成 26 年度第 1 回地域福祉推進部会議事録
- 6) 平成 26 年度第 1 回公民館活用部会報告
- 7) 平成 26 年度第 1 回まちづくり推進部会要旨
- 8) 第 1 回郷土文化推進部会議事録
- 9) ～郷土文化推進部会からのご報告～第 7 回「こどもの日を祝う 牛若まつり」
- 10) 4 月 25 日号回覧一式
- 11) 5 月 10 日号回覧一式
- 12) 平成 26 年度片瀬・江の島まちづくり協議会活動計画（確定版）
- 13) 平成 26 年度片瀬・江の島まちづくり協議会部会一覧（担当事業・構成員）
- 14) 平成 26 年度地域課題の取り扱いについて
- 15) 平成 26 年度第 1 回地区集会企画・進行
- 16) 片瀬・江の島まちづくり協議会平成 26 年度スケジュール調整表
- 17) 平成 26 年度会議日程表

<内容>

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

（1）平成 26 年度第 1 回全体会について

会議内容について、資料 2）に基づき振り返りを行った。

（2）各部会からの報告

各部会が、資料 3）～ 9）等に基づき部会活動の報告を行った。

また、青少年健全育成部会からは、近隣の大学に対して片瀬地区青少年育成事業（小学生夏休みふれあい事業、青少年の居場所事業、片小における学級内で児童の学習・生活支援補助）に向けた学生ボランティアの紹介について、部会、青少年支援フォーラム、片小学校支援コーディネーターの連名でお願いしていることの経過説明があった。

郷土文化推進部会からは、旧江の島道整備事業において懸案となっている西行戻り松の枝に接触している電話線について迂回工事を5月中に行う旨の経過説明もあった。

地域広報部会からは、各地区の郷土づくり推進会議の情報発信方法の調査を行っていることや、提供を受けた各地区のまちづくり活動のニュースを閲覧できるように準備をしている旨の経過説明があった。

その他、委員からは、片瀬地区には貴重な浮世絵や伝元使塚などの史跡についても、郷土文化推進部会でとりあげてPRをしてみても、との意見・提案が寄せられた。

（４）各地域団体からの報告（トピック）

- ・（子ども会）5月31日に開催する「こどもらんどまつり」への参加の呼びかけがあった。また、6月21日に開催する「子ども天国」の子どもと大人のスタッフ募集についても呼びかけがあった。
- ・（スポーツの会）6月7日に片瀬小学校において開催する「スポーツフェスティバル」への参加の呼びかけがあった。
- ・（生環協）5月25日に開催される市主催の「ゴミゼロクリーンキャンペーン」への参加について呼びかけがあった。

（５）その他

ア 委員研修会報告

事務局より、4月26日（土）に開催した委員研修会の実施結果について報告があり、参加者からは、新任委員同士が知り合え、まちづくり活動の制度の理解を深めることができたとの感想が寄せられた。

イ その他

特になし

4. 議題

（１）平成26年度活動計画について

ア 部会について

資料 12) に基づき、活動計画の最終確認を行い了承された。また、資料 13) に基づき、部会構成員の現状においての確認を行った。

イ 地域課題別検討会について

資料 14) に基づき、課題の進め方について確認を行った。

各課題について、A：部会の課題として取り扱う、B：課題別検討会で取り扱う、C：移行した担い手が主体的に行い当面部会では取り扱いをしない、の 3 つの分類で方向性内容の確認を行い、分類 A は課題 No. 10～13 とし、地域福祉推進部会が基本検討していくこととし、分類 C は No. 3～7 及び 14 と整理した。

また、分類 B は課題 No. 1～2 及び 8～9 とし、これについては課題別検討会を先ずは委員が基本構成員となって設置して検討していくこととし、希望者を募った結果、課題 No. 1 「市民の家の利便性向上課題」については原委員、鶴見委員、徳江委員が、課題 No. 2 「地域の居場所あり方検討課題」については田村委員が、課題 No. 8 「廃屋への対応課題」については岡田委員が、No. 9 「ごみの持ち帰り、ポイ捨て禁止キャンペーン等の検討課題」については三觜委員、村越委員が各々参加することとなった。

なお、分類 B の課題については、部会においても今後取り扱うことが可能になった場合は、その都度取り扱いを考えていくこととした。

(2) 第 1 回地区集会について

ア 進め方について

資料 15) に基づき確認を行った。資料のうち地域団体事業概要集について、公民館評議員会は事業を行っていないこともあり、そもそも地域団体というくくりでの掲載はそぐわないのではないかと意見が委員から挙げられた。検討した結果、今回の事業概要集への掲載はやめることとしたが、今後も公民館評議員会は片瀬・江の島まちづくり協議会の重要な構成団体であることの確認がされた。

イ 役割分担について

資料 15) の 3 ページに基づき、確認を行った。発表説明原稿については、23 日（金）までに事務局が各団体等からの写真等素材をとりまとめ、当日までに発表者と調整していくこととした。

5. その他

資料 17) に基づき、今後の日程について確認を行った。

6. 閉会

以 上

平成 26 年度 第 3 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成 26 年 6 月 19 日（木）午後 6 時 30 分～午後 8 時 58 分

場 所：片瀬市民センター 第 1 談話室

出席者：委 員 25 名（委員現在数 26 名。欠席 1 名）

事務局 8 名

<配付資料>

- 1) 平成 26 年度第 3 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会次第
- 2) 平成 26 年度第 2 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成 26 年度第 1 回片瀬・江の島まちづくり協議会地区集会議事録概要
- 4) 平成 26 年度第 3 回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 5) 青少年健全育成部会平成 26 年度第 2 回部会結果報告
- 6) 平成 26 年度第 2 回公民館活用部会報告(修正後)
- 7) 平成 26 年度第 2 回まちづくり推進部会要旨
- 8) 第 2 回郷土文化推進部会議事録
- 9) 平成 26 年度第 1 回地域広報部会要旨
- 10) 平成 26 年度第 2 回地域広報部会要旨
- 11) 片瀬公民館内での飲食についての取り扱い
- 12) 第 37 回片瀬地区ふれあいまつり運営日程等について
- 13) 平成 25 年度第 36 回片瀬ふれあいまつり役割分担表（参考資料）
- 14) 平成 26 年度第 1 回片瀬・江の島まちづくり協議会地区集会議事録(校正用第 1 版)
- 15) 平成 26 年度第 1 回片瀬・江の島まちづくり協議会地区集会参加者アンケート結果
- 16) 片瀬・江の島まちづくり協議会まちづくり通信第 12 号(案)
- 17) 平成 26 年度地域課題の取り扱いについて
- 18) 平成 26 年度片瀬地区地域まちづくり事業費一覧表
- 19) 5 月 20 日号回覧一式
- 20) 6 月 5 日号回覧一式
- 21) 6 月 20 日号回覧一式

<内容>

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 報告

- (1) 平成 26 年度第 2 回全体会について

会議内容について、資料 2) に基づき振り返りを行った。

(2) 各部会からの報告

各部会が、資料3)～10)等に基づき部会活動の報告を行った。地域福祉推進部会は、議事録等資料はなく口頭にて報告があった。郷土文化推進部会からは、旧江の島道整備事業における西行戻り松の枝に接触している電話線の迂回工事が5月末に行われた報告があった。

(3) 各地域団体からの報告（トピック）

- ・（防犯協会）防犯情報交換会の報告があり、不審者を見かけたら、駐在所ではなく110番に通報するお願いと、不審者情報は、各自治町内会長と防犯部長に連絡を行う説明があった。
- ・（子ども会）6月21日に開催する「子ども天国」の参加の呼びかけがあった。
- ・（民児協）敬老会について、6月5日号で回覧したが、7月に改めてご案内することと、今年度からは対象年齢が83歳以上になった説明があった。
- ・（公民館評議員会）公民館施設内食事承認申請について、資料11)に基づき、公民館内での飲食の取り扱いについて説明があり、活動する上で食事が必要な場合は、申請書を提出する依頼があった。ふれあいまつりについては、資料12)に基づき、日程説明があった。

(4) その他

特になし

4. 議題

(1) 第1回地区集会の振り返りと次回集会の持ち方について

資料3, 14, 15)に基づき、振り返りを行い、委員から以下の意見があげられた。

- ・手話通訳の方もいたので、聾啞の参加者に感想を聞けたらよかった。
- ・片瀬山の都市計画道路横浜藤沢線問題について、避難通路としての活用や渋滞解消というテーマとして扱ってはどうか。
- ・資料が多く、後での活用が難しいか。スライドで十分な気がした。集会の内容は、もっと生活に身近な話題や暮らしに役立つことでもいいのではないか。例えば、子育て世帯に臨時特例給付金の話をするとか、防犯カメラについてなど。参加者も増やすための方策も今後考えていく必要がある。20代、30代の参加者がいなかったので、子育ての担当部署が来て、子育て推進に関する課題設定をするなどはどうか。
- ・資料については、過去の集会において詳細な資料が欲しいという要望があり、事前配布も含めて行うようになった経緯がある。

- ・開催場所をしおさいセンターにすることで、新しい方も参加できるようになるかもしれない。
- ・参加者を増やす案として、まちづくり協議会が参加者へ発表するのではなく、例えば子育て中のお母さんから子育てについて発表していただくなど、参加者に発表してもらう形はどうか。その発表者を応援する方が多く集まるのではないかな。体験談を話してもらうだけでも意見が出てくると思う。
- ・まちづくり協議会として扱える課題を中心に地区集会を考えてはどうか。市民の家、居場所、廃屋や地域ケア会議の情報も出せるものがあれば、このうち3つぐらいのテーマで参加者へ課題に関する情報提供を行い、意見を聞いていく形。

以上の意見及び6月末までに事務局へ寄せられた意見を参考にしつつ、役員会で検討して、7月の全体会において次回地区集会の進め方を審議することとした。

(2) 課題別検討ワーキングについて

委員の認識する課題として、渋滞緩和、避難経路のために県道横浜藤沢線の川名以降の延伸と江の島の道路の渋滞について挙げられた。これらの課題については、関心のある委員を中心に勉強会を行い、現状把握から進めていくこととした。地区集会で意見としてあげられた西方公園あずまやは、神奈川県と地元の町内会で調整をしているので、協議会としては経過を見守っていくこととした。

ワーキングは、課題No.8 廃屋への対応課題の進め方について、岡田委員より意見があげられた。①管理不全の廃屋によるトラブルを未然に防ぎ安心して暮らせるまちづくりを目指す。②そのためには、周辺住民からの申立てを踏まえ、解決のため所有者、行政、まちづくり協議会、自治町内会、地域団体、近隣住民などとの連携協力を行う。③解決のための廃屋（空家）の実態を把握調査し、トラブルを未然に防ぎ、他の情報も取り入れ「安全マップ」づくりに発展し、将来のまちづくりに活用する。④所有者へ改善の働きかけと行政側への働きかけ等。⑤次年度予算確保実態把握調査に要する費用、所有者特定に要する経費、法規制が施行されるまでの改善対策費用。⑥時間を掛けて所有者（地権者）の承諾を得て、「マイナスをゼロにする取り組み」を模索し出来ることから実行する。以上の意見をふまえ、委員だけでなく町内会長や地区集会で課題を挙げられた参加者も含めワーキングを進めていったらどうかと意見があった。

課題No.1 市民の家の利便性向上課題については、7月の全体会で企画政策課より藤沢市全体の公共施設の再整備プランについての説明が、また7月前半に片瀬山5自治町内会が片瀬山市民の家について市民自治部と意見交換の予定があるので、それらを踏まえつつ進めていくこととした。

課題No.2 地域の居場所あり方検討課題は、片瀬海岸2、3丁目が中心であったが、

エリアを限定せず片瀬・江の島地域全体として進めていくこととした。また、課題 No.1 と 2 は、市民の家が関わるので、内容についてきちんと区分けを検討していくこととした。

(3) まちづくり通信について

資料 16) まちづくり通信第 12 号(案)について確認をした。修正等あれば 6 月 25 日(水)までに事務局に連絡することとした。地域広報部会で最終確認を行い、7 月 1 日(火)に印刷を行い、7 月 10 日号で各戸配布することとした。

(4) 来年度予算について

資料 18) 平成 26 年度片瀬地区地域まちづくり事業費一覧表をもとに、各部会において来年度概算予算について事業の方向性等の確認を行うこととした。

5. その他

特になし。

6. 閉会

以 上

平成 26 年度 第 4 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成 26 年 7 月 17 日（木）午後 2 時 30 分～午後 4 時 56 分

場 所：片瀬市民センター 第 1 談話室

出席者：委 員 20 名

（委員現在数 26 名。6 名欠席）

事務局 7 名

<配付資料>

- 1) 平成 26 年度第 4 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会次第
- 2) 平成 26 年度第 3 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成 26 年度第 2 回地域福祉推進部会議事録
- 4) 平成 26 年度第 3 回地域福祉推進部会議事録
- 5) 青少年健全育成部会平成 26 年度第 3 回部会結果報告
- 6) 平成 26 年度第 3 回公民館活用部会報告
- 7) 平成 26 年度第 3 回まちづくり推進部会要旨
- 8) 第 3 回郷土文化推進部会議事録
- 9) 平成 26 年度第 3 回地域広報部会要旨
- 10) 平成 26 年度第 2 回地区集会企画（役員会案）
- 11) 平成 26 年度地域課題等の取り扱いについて
- 12) 片瀬地区地域まちづくり事業費一覧表（平成 27 年度予算概算要求）
- 13) 片瀬・江の島まちづくり協議会 平成 26 年度スケジュール調整表
- 14) 7 月 10 日号回覧一式
- 15) 7 月 25 日号回覧一式

<内容>

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 市の計画策定について説明と意見交換
 - ・藤沢市公共施設再整備プラン（素案）について
4. 報告
 - （1）平成 26 年度第 3 回全体会について
会議内容について、資料 2）に基づき振り返りを行った。
 - （2）各部会からの報告

各部会が、資料3)～9)に基づき部会活動の報告を行った。7月10日に予定されていた第4回人材・情報バンクセンター運営委員会については、悪天候のため中止となった旨の報告があった。

(3) 各地域団体からの報告（トピック）

- ・（民児協）9月9日に市民会館において開催される予定の市及び地区社協主催による敬老会は、今年より対象年齢が83歳以上と引き上げられたとともに、結婚50、60、70周年のお祝いの廃止などの見直しについての報告があった。また、8月5日には鵜沼東地区との交換民協が行われるとの報告があった。
- ・（青少協）7月4日に開催された潮の子フォーラムについての開催報告があった。また、7月18日にデーキャンプが、7月19日から8月23日の毎週土曜日には夏期海岸夜間パトロールが行われる旨の報告があった。
- ・（スポーツ会）7月19日～8月10日の毎週土日に片瀬小でプール開放がされることと、8月3日午前10時開催の「かっぱまつり」について説明があった。
- ・（生環協）7月21日に海の日キャンペーン、8月2日にポイ捨て防止キャンペーンを行う旨の説明があった。

(4) その他

特になし

5. 議題

(1) 第2回地区集会について

資料10)に基づき、地区集会企画の役員会案について検討を行った。日程は、9月21日（日）午後1時30分～午後3時30分の計120分とした。活動報告は、スライドまたは動画で活動紹介し、感想や意見はアンケート用紙に記入してもらうこととした。ワークショップのテーマは、Aこんな公民館があるといいな！Bこんな交流スペースがあるといいな！Cこんな空き家・廃屋に困っています！の3つのテーマにすることとした。また、テーマAは公民館職員、Bは市民自治推進課、Cは防犯交通課にも加わってもらうこととした。前回の地区集会の課題であげられた若い世代の参加は、テーマBの交流スペースについて高齢者等おとな向けと子育て世代向けに分けることで、参加を促せる意見も出た。参加については事前申込制とし、テーマごとの参加人数を把握していくこととした。各委員のグループ分けや役割分担等は、次回の全体会で検討することとした。

(2) 課題別検討ワーキングについて

資料 11) に基づき、ワーキングのメンバーや進め方について確認を行った。No. 2 地域の居場所あり方検討課題については、地域福祉推進部会が部会の中で検討した結果、地域福祉推進部会が扱っていくこととなった。各ワーキングは、ワーキング・メンバーで日程調整を行い、基本的には勉強会から進めていくこととした。また、ワーキングごとに座長を決めることとし、No. 1 市民の家の利便性向上課題は原副会長、No. 2 地域の居場所あり方検討課題は田村委員、No. 8 廃屋への対応課題は岡田委員、No. 9 ごみの持ち帰り課題は三觜委員、No. 10～13 福祉の課題は杉山副会長となった。懸案事項の計画道路横浜藤沢線の情報については、事務局が当面の連絡係となることとした。

(3) その他

・平成 27 年度概算予算について

資料 12) に基づき、平成 27 年度概算予算要求について事務局より説明があった。

6. その他

特になし。

7. 閉会

以 上

平成 26 年度 第 5 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成 26 年 8 月 22 日（金）午後 6 時 30 分～午後 8 時 30 分

場 所：片瀬市民センター 第 1 談話室

出席者：委 員 16 名

（委員現在数 26 名。10 名欠席）

事務局 7 名

<配付資料>

- 1) 平成 26 年度第 5 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会次第
- 2) 平成 26 年度第 4 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成 26 年度第 4 回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会議事録
- 4) 平成 26 年度第 4 回地域福祉推進部会議事録
- 5) 片瀬地区地域福祉活動者交流会（仮称）素案
- 6) 青少年健全育成部会平成 26 年度第 4 回部会結果報告
- 7) 平成 26 年度第 4 回公民館活用部会報告
- 8) 平成 26 年度第 2 回地区集会企画（案）
- 9) 平成 26 年度地域課題等の取り扱いについて
- 10) 8 月 5 日号回覧一式
- 11) 8 月 20 日号回覧一式

<内容>

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 報告

（1）平成 26 年度第 4 回全体会について

会議内容について、資料 2）に基づき振り返りを行った。

（2）各部会からの報告

各部会が、資料 3）～ 7）に基づき部会活動の報告を行った。郷土文化推進部会からは、8 月 18 日に予定していた部会が検討資料の準備の都合上で延期となったことが、また、地域広報部会からは、各地区ポータルサイトのデータを置いているサーバが緊急メンテナンスのため、現時点においてポータルサイトが利用できない状況にある旨の報告があった。

（3）各地域団体からの報告（トピック）

- ・（社協）9 月 9 日に開催される敬老会への協力のお願いがあった。

- ・（公運評）ふれあいまつりが10月25～26日開催のお知らせがあった。
- ・（JJBC）9月6日にボランティア講演会開催のお知らせがあった。
- ・（郷土文化）8月26日に諏訪神社で片瀬餅つき唄が行われるお知らせがあった。

（４）その他
特になし

4. 議題

（１）第２回地区集会について

資料８）に基づき、地区集会の企画内容及び進め方について検討を行った。活動報告は、スライドまたは動画で活動紹介するため、各部会から特にアピールしたい活動や写真があれば事務局まで提供してもらうこととした。ワークショップについては、進め方の確認ののち役割分担の確認を行った。司会・進行は徳江副会長、ワークショップの説明は犬山副委員長、総括は長谷川会長とした。受付は福島委員、長坂委員、会場への誘導は全委員で行うこととした。エレベーターの操作については、田中委員が行うこととした。また、テーマごとの担当は、テーマＡ 公民館については、進行役は鶴見副会長、書記役は小池委員、スタッフは波多副会長、犬山副会長、徳江副会長があたり、オブザーバーとして前場公民館運営推進員が参加することとなった。テーマＢ 交流スペース・子育てのグループについては、進行役は正田片瀬地区ボランティアセンター運営委員会副会長、書記役は同委員会の関根委員及び稲富委員、スタッフは当協議会の田村委員、石倉委員及び長坂委員があたり、オブザーバーとしては市民自治推進課及び子ども青少年育成課の職員が参加することとなった。交流スペース・おとなグループについては、進行役は杉山副会長、書記役は片瀬地区ボランティアセンター運営委員会の鶴見委員及び入江委員があたり、オブザーバーとしては藤沢市社会福祉協議会の倉持事務局長が参加することとなった。テーマＣ 廃屋については、進行役は岡田委員、書記役は廃屋課題検討ワーキングのメンバーがあたり、そのほかのスタッフとしては原副会長、畠山副会長、高木委員、阿井委員及び田中委員が参加し、オブザーバーとしては市民自治推進課職員が参加することとなった。なお、本日欠席の委員については、後日どのテーマに参加するか事務局が確認することとした。

また、会場の配置について、テーマＡとＣのワークショップが隣同士で音がかぶりやりづらいのではという意見があげられたので、会場レイアウトは再度検討することとした。

（２）課題別検討ワーキングについて

資料 9) に基づき、各課題検討ワーキングの進捗状況について報告及び確認を行った。No. 1 市民の家の利便性向上課題については、9 月 4 日に勉強会を行い、市民自治推進課からは市公共施設再整備プランを具体的な説明を受けてから、今後の進め方について検討していく予定で、No. 2 地域の居場所あり方検討課題については、地域福祉推進部会・片瀬地区ボランティアセンター運営委員会が地区集会・ワークショップに向けた準備を進めている報告があった。No. 8 廃屋への対応課題については、8 月 1 日に防犯交通安全課より市の取り組み状況の情報提供を受け、引き続き講演会で勉強したうえで、9 月に地区集会・ワークショップに向けた準備を進める予定で、No. 9 ごみの持ち帰り課題については、9 月 11 日に第 1 回目の検討会の開催を予定し、No. 10～13 福祉の課題については、地域福祉推進部会が地域福祉活動者交流会の企画の検討を行っている旨の報告があった。懸案事項の計画道路横浜藤沢線の情報については、9 月 10 日に土木計画課を招き勉強会を行う予定で、以上の各課題等の勉強会については、関心のある委員は事前に事務局へ連絡することで参加できることとした。

(3) その他

鶴見副会長より、公民館活用部会の視察の中で、片瀬しおさいセンター内のふれあいルームの器物が破損を受けている状況が目につき、何らかの対策・対応を行うべきではないかとの意見が出された。対策・対応を行うにあたっては、防犯・教育機関などの団体と一緒に考えていく必要もあるのではないかという意見も挙げられた。

5. その他

特になし。

6. 閉会

以 上

平成 26 年度 第 6 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成 26 年 9 月 10 日（水）午後 6 時 30 分～午後 7 時 50 分

場 所：片瀬市民センター 第 1 談話室

出席者：委員 20 人（委員現在数 26 人。欠席 6 人），事務局 8 人

<配付資料>

- 1) 平成 26 年度第 6 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会次第
- 2) 平成 26 年度第 5 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成 26 年度第 5 回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会議事録
- 4) 平成 26 年度第 5 回地域福祉推進部会議事録
- 5) 夏休み小学生ふれあい事業（報告）
- 6) 平成 26 年度第 4 回まちづくり推進部会要旨
- 7) ～片瀬・江の島まちづくり協議会 郷土文化推進部会からのご報告～
- 8) 平成 26 年度第 2 回地区集会進行表
- 9) 地区集会会場図
- 10) 平成 26 年度地域課題等の取り扱いについて
- 11) 9 月 5 日号回覧一式

<内容>

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

（1）平成 26 年度第 5 回全体会について

会議内容について、資料 2）に基づき振り返りを行った。

（2）各部会からの報告

各部会が、資料 3～7）に基づき部会活動の報告を行った。

人材・情報バンクセンター運営委員会からは、9 月 19 日開催予定のコーディネーター研修会について、まちづくり組織に関する説明内容もあることから、委員の参加についての案内があった。

地域広報部会からは、以前報告のあった地区ポータルサイトのサービス停止について、サーバ管理者側の補修作業が最終段階にきており、来週中には再稼働できる見込みである旨の報告があった。

（3）各地域団体からの報告（トピック）

- ・（スポーツの会）片瀬地区レクリエーション大会について 10 月 13 日（月）9 時から片瀬中学校で開催する旨の案内があった。

- ・(社協)地区敬老会について、各地域団体の協力により無事に開催できたことへの謝辞及び報告があった。
- ・(青少協)夏期海岸夜間パトロールの活動について、藤沢警察署長から表彰を受けたことの報告があった。

(4) その他
特になし

4. 議題

(1) 第2回地区集会について

資料8)に基づき、進行と役割と時間割について確認を行った。「ワークショップの進め方について」の説明者については、徳江副会長が担当することとなった。

現時点の一般参加者の申込状況については、テーマA「公民館の活用」に3人、テーマBの「子育てのグループ」に2人、「おとなのグループ」に6人、テーマC「地域の廃屋対策」に5人との報告があった。

また、事務局は記録等の補助として、各テーマに1～2人配置することとなった。

資料9)に基づき、会場レイアウトの確認を行い、ワークショップの机や椅子の設置については、各テーマの当日の参加状況を見て対応することとした。

開会当初のホールでの席次については、ワークショップの内容説明とともに進行役について紹介を行うため、進行役や役員については前方の席に着くこととした。

また、ホール後方には、各部会等の活動PRコーナーを設けることとした。

「まちづくり・Now!」について、試作品を上映し内容の確認を行い、意見・感想として、解説文字のスピードが速く読みきれない、ナレーションがあれば解説文字は不要である、映像に出ている人物を特定できないような工夫等が挙げられたので、これらを踏まえて修正を行っていくこととした。

(2) 課題別検討ワーキングについて

資料10)に基づき、各課題検討ワーキングの活動について、進捗状況の報告及び確認を行った。

No.1「市民の家の利便性向上課題」については、9月4日に市民自治推進課職員を交えて勉強会を行い、片瀬浪合市民の家の利便性向上のために、市民自治推進課と調整しながら市民の家運営委員会と意見交換の場を持っていきたいとの報告があった。

No.2「地域の居場所あり方検討課題」については、地域福祉推進部会及び片瀬地区ボランティアセンター運営委員会で、No.10～13の福祉関連課題については、地域福祉推進部会で引き続き検討している旨の報告があった。

No.8「廃屋への対応課題」については、8月25日に不動産協会主催の研修会へ参加し、9月8日には防犯交通安全課職員を交えて勉強会及び地区集会ワークショップの進行について検討を行った旨の報告があった。

No.9「ごみの持ち帰り、ポイ捨て禁止キャンペーン等の検討課題」については、9月11日に検討会を行う旨の報告があった。

懸案事項の「計画道路横浜藤沢線の情報について」は、本日の全体会前に、市土木計画課2人及び委員6人が出席し、県の整備計画や現在までの進捗等経過についての情報提供及び質疑応答を行った旨の報告があった。

(3) ふれあいまつりへの出展について

まちづくり協議会の出展については、活動のPRをパネル2枚使って展示を行っていきたい旨の役員会提案があり、実施することとした。「まちづくり・Now!」の上映等の意見が挙げられ、今後もアイディアがあれば事務局へ連絡することとした。

また、郷土文化推進部会及び青少年健全育成部会については、部会としてPR展示を行う旨の報告があった。

(4) まちづくり通信第13号について

主な内容は地区集会の実施報告とし、10月20日の地域回覧便にて各戸配付する計画について確認した。紙面のレイアウトや記事の詳細については、地域広報部会で検討及び編集し、次回の全体会で確認していくこととなった。

(5) その他

前回の全体会で挙げられた片瀬しおさいセンターのふれあいルームの利用状況については、運営面として、夜間担当者全員に状況の確認をしていること、当面夜間の見回りを現状3回から30分間隔へと増やしていく旨の報告が事務局からあった。今後、運営上の問題及びふれあいルームに目が届かない位置に受付がある物理的な問題、利用者の使い方の問題、この3点を整理して考えていく報告があった。

5. その他

特になし。

6. 閉会

以 上

平成 26 年度 第 7 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成 26 年 10 月 16 日（木）午後 2 時 30 分～午後 4 時 30 分

場 所：片瀬市民センター 第 1 談話室

出席者：委員 19 人（委員現在数 26 名。7 人欠席），事務局 6 人

傍聴者：3 名（人材・情報バンクセンター新任コーディネーター）

<配付資料>

- 1) 平成 26 年度第 7 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議次第
- 2) 平成 26 年度第 6 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成 26 年度第 2 回地区集会結果報告
- 4) 平成 26 年度第 6 回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会議事録
- 5) 青少年健全育成部会平成 26 年度第 5 回部会報告
- 6) 平成 26 年度第 5 回公民館活用部会報告
- 7) 平成 26 年度第 4 回まちづくり推進部会要旨
- 8) 平成 26 年度第 4 回地域広報部会要旨
- 9) 平成 26 年度地域課題等の検討について
- 10) まちづくり通信第 13 号(案)
- 11) 知ろう！地域をつくる『地域密着型サービス』回覧チラシ
- 12) 9 月 25 日号回覧一式
- 13) 10 月 10 日号回覧一式
- 14) 10 月 10 日号広報ふじさわ

<内容>

1. 開会

事務局より、人材・情報バンクセンター新任コーディネーター 3 名の紹介があった。

2. 会長あいさつ

3. 報告

(1) 平成 26 年度第 6 回全体会について

会議内容について、資料 2) に基づき振り返りを行った。

(2) 各部会からの報告

各部会が、資料 4～8) に基づき部会活動の報告を行った。

郷土文化推進部会からは、10 月 26 日(日)ふれあいまつりで片瀬餅つき唄と片瀬こま体験会を実施する案内があった。

(3) 各地域団体からの報告（トピック）

- ・(スポーツの会)片瀬地区レクリエーション大会は、台風接近のため中止の報告があった。11 月 2 日(日)にスポーツまつりふじさわが開催される案内があった。

- ・(生環協)10月22日(水)に藤沢市生活環境連絡協議会市民大会が市民会館で開催される案内があった。また、11月16日(日)に行われる一日清掃デーの参加案内があった。
- ・(自主防)10月18日(土)に片瀬小学校で片瀬地区自主防災訓練が行われる案内があった。

(4) その他

事務局より、資料11)について、10月30日(木)に片瀬市民センターで地域密着型サービスに関するセミナー開催の案内があった。

4. 議題

(1) 第2回地区集会について

資料3)に基づき、地区集会の報告を行った。参加者については一般32名を含む、計85名の参加があり、各テーマの進行役委員から当日の意見・感想について次の内容が挙げられた。『テーマA 公民館については、いただいた意見のうち出来ることを公民館で行うとともに、公民館活用部会でも意見の整理が必要になると感じている。施設の使用に関しては、こどもの居場所について考えていく必要があるのだ。こどものためにどうしたら良いのか、地域全体で考えていく必要があるので地域課題として扱っていきたいと感じている。』『テーマB 交流スペースについては、資料14)のとおりボランティアセンター「ひだまり片瀬」が地域の縁側(交流スペース)モデル事業として10月1日に指定され、集会で寄せられた意見を踏まえ、今後の益々の充実をめざしてボランティアセンター運営委員会で引き続き検討していく予定である。』『テーマC 空き家・廃屋については、参加者で課題に直面している方もおり、たくさんの意見・提案をいただいた。この課題については、関係者が多く存在するので、役割を整理しながら課題解決のためのルール作りをしていきたいと考えている。』

次回の地区集会の企画については、11月の全体会でテーマや進め方・周知方法等を検討し、12月の全体会には大枠を決めていく必要があるため、意見を11月の役員会前までに事務局へ連絡することとした。

(2) 課題別検討ワーキングについて

資料9)に基づき、各課題検討ワーキングの活動について、進捗状況の報告及び確認を行った。

No.1「市民の家の利便性向上課題」については、市民自治推進課と調整しながら市民の家運営委員会と意見交換を行っていく旨の報告があった。

No.2「地域の居場所あり方検討課題」については、地区集会の振り返りを11月10日(月)に行う旨の報告があった。

No. 8「廃屋への対応課題」については、地区集会で寄せられた意見の整理を9月30日(火)に行った報告があった。それを踏まえ、11月4日(火)には、整理された意見の取り扱いや役割分担を決めていく旨の報告があった。

No. 9「ごみの持ち帰り、ポイ捨て禁止キャンペーン等の検討課題」については、9月11日(木)に昨年度実施された組織のあり方ワーキングであげられたゴミのポイ捨ての意見の整理を行った旨の報告があった。次回は、再度地域団体から意見を伺いたいので、各地域団体から数名参加していただき、地域の環境問題についてのご意見をいただきたい旨の依頼があった。

No. 10～13の福祉関連課題については、地域福祉推進部会で引き続き検討している旨の報告があった。

新規の小学生の居場所課題については、地区集会の公民館活用ワークショップで意見が挙げられたもので、10月の役員会でも検討を行い、課題として位置づけを行っていきたい旨の提案があった。今後、学校関係者やPTAを含め関係団体に集まっていただき、地区集会の声を受けての話し合いを持っていき、実情について把握し、問題の捉え方、取り扱いの方向性、担い手などについて議論することとした。

(3) まちづくり通信第13号について

資料10)に基づき、これまで寄せられた意見等踏まえた修正版の確認を行った。さらに修正点等あれば本日中に事務局へ連絡することとし、修正があった場合は地域広報部会の責任校正扱いとして、明日印刷していくことで確認した。

(4) その他

公民館の課題として、公民館事業を地域団体と協力し、場合によっては共催し、より良い事業にしていきたいと考えている。また、地域広報部会としても、地域情報の共有・活用という点からも、公民館事業と地域団体活動や事業とのリンクを進めていきたいと考えている。そこで、平成27年度の公民館事業内容を計画する時期となったので、事業に関連する各地域団体と個別に意見交換・打ち合わせを行い、公民館事業の企画に反映していきたい。ついては、個別にこれから日程調整をさせていただきたいとの説明と依頼が事務局からあった。

まちづくり協議会の出展については、活動のPRとしてパネル展示とまちづくり・Now!の放映を行っていく旨の報告があった。

5. その他

特になし。

6. 閉会

以 上

平成 26 年度 第 8 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成 26 年 11 月 21 日（金）午後 6 時 30 分～午後 8 時 15 分

場 所：片瀬市民センター 第 1 談話室

出席者：委員 23 人（委員現在数 26 名。3 人欠席）

事務局 7 人

<配付資料>

- 1) 平成 26 年度第 8 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会次第
- 2) 平成 26 年度第 7 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成 26 年度第 7 回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会議事録
- 4) 平成 26 年度第 6 回地域福祉部会議事録
- 5) 平成 26 年度第 6 回公民館活用部会報告
- 6) 平成 26 年度第 6 回まちづくり推進部会要旨
- 7) 平成 26 年度第 4 回郷土文化推進部会議事録
- 8) 郷土文化推進部会からのご報告（ふれあいまつり活動報告）
- 9) 平成 26 年度第 3 回地区集会実施企画について（検討資料）
- 10) 平成 26 年度地域課題等の検討状況について（課題別ワーキング扱い）
- 11) 10 月 25 日号回覧一式
- 12) 11 月 5 日号回覧一式
- 13) 11 月 25 日号回覧一式
- 14) 片瀬・江の島まちづくり協議会忘年会について（ご案内）

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

（1）平成 26 年度第 7 回全体会について

会議内容について、資料 2）に基づき振り返りを行った。

（2）各部会からの報告

各部会が、資料 3～8）に基づき部会活動の報告を行った。

（3）各地域団体からの報告（トピック）

- ・（スポーツの会）11 月 2 日（日）にスポーツまつりふじさわが実施された報告があった。また、11 月 18 日（火）にパークゴルフ大会が実施され 39 名参加の報告があった。
- ・（生環協）11 月 16 日（日）に一日清掃デーが実施され、700 名を超える参加の報告と協力に対する謝辞があった。また、清掃場所と集積場所に関する質疑があり、

清掃場所と集積場所については町内会で場所を設定し前年度と変更がある場合は事務局まで連絡をするよう回答があった。

- ・(公民館評議員会)10月25日(土)～26日(日)に公民館まつりが実施され、推定11,300人参加の報告があった。
- ・(片子連)10月末にハロウィンのイベントを行い、子ども・地域の交流ができた報告があった。

(4) その他
特になし

4. 議題

(1) 第3回地区集会について

資料9)に基づき、地区集会についての企画検討を行った。

まず、当初計画並びに第1回及び第2回地区集会実施結果についての振り返りを行い、平成26年度を3つのステージに分け、第1ステージは活動計画の地域への認知、第2ステージはまちづくり活動の推進、第3ステージは活動評価と計画反映とし、各ステージで地区集会を開催すること、平成27年度も同じく第3ステージに分け、第3ステージでは郷土づくり推進会議第1期の活動総括も行う計画を再確認した。

次に、役員会で検討した実施計画素案について提案し、検討を行った。まず、日程は2月21日(土)、22日(日)、28日(土)のいずれか1日とし、進め方は第1部で課題別ワークショップを、第2部で平成26年度活動報告及び平成27年度活動報告とする説明を行った。第1部のワークショップのテーマは、地域の要望を引き出す要素、新たな課題を引き出す場、地域団体が抱えている課題、空き家・廃屋課題のようにまとめるを行うことが難しいテーマは今回まとめをせず、今後継続して行い平成27年度の郷土づくり推進会議第1期の活動総括でまとめを行ったらどうかという提案を行った。

以上を踏まえて議論を行い、日程は2月28日(土)、時間帯は13時～15時30分程度とした。案内チラシの地域回覧便は1月25日号に行うこととした。

課題別ワークショップのテーマとして、介護制度や神奈川県で行っている3033運動(県民が一人でも多くスポーツに親しみ、健康で明るく豊かな生活を営んでいくために、1日30分、週3回、3ヶ月間継続して運動やスポーツを行い、運動やスポーツをくらしの一部として習慣化していく活動)のような地域の方に認知してもらいたい制度の説明を行った後に、制度について議論する形式も良いのではないかと意見が挙げられたが、別に日程を設けて行った方が効果的ではないかという意見もあった。また、空き家・廃屋は前回の地区集会の参加者も参加されると思われることから、課題解決のための情報提供や方策を示した方が良いと意見が挙げられたので、このことについては廃屋課題検討ワーキングで検討することとした。

テーマについては、①片瀬・江の島の地域魅力を発掘、②きれいで住みよいまち片瀬・江の島に、③公民館事業にこんな企画があるといいね、④空き家・廃屋問題について考える、を基本として準備を進めていくこととし、子育てのテーマも前回に続けて掘り下げたいという追加意見も踏まえて役員会で検討していくこととした。

次回全体会では、④空き家・廃屋問題のワークショップを行うか否か、また、各部会や課題別検討ワーキングから新たなテーマが出された場合の扱いを検討し、最終決定することとした。

(2) 課題別検討ワーキングについて

資料 10) に基づき、各課題検討ワーキングの活動について、進捗状況の報告及び確認を行った。

No. 1「市民の家の利便性向上課題」については、市民自治推進課と調整しながら市民の家運営委員会と意見交換を行っていく旨の報告があった。

No. 8「廃屋への対応課題」については、11月4日(火)に整理された意見の取り扱いや役割分担を行った報告があった。それを踏まえ、12月8日(月)に事象発覚から処理までの現状フロー整理とガイドラインづくりに向けた検討を行う報告があった。また、地区集会のワークショップ報告記事を見た片瀬地区内在住の不動産業者からワーキングに協力したい旨の連絡があり、今後のワーキングに参加していただく予定でいる報告があった。

No. 9「ごみの持ち帰り、ポイ捨て禁止キャンペーン等の検討課題」については、11月7日(金)に各地域団体から数名参加していただき、地域の環境問題についてのご意見をいただいた報告があった。今後は、各団体からいただいた意見の整理と方向性を決めていく旨の報告があった。

小学生の居場所課題については、今後、学校関係者やPTAを含め関係団体に集まっていただき、地区集会の声を受けての話し合いを持っていき、実情について把握し、問題の捉え方、取り扱いの方向性、担い手などについて議論することとした。

(3) その他

特になし。

5. その他

当面の日程の確認を行った。

6. 閉会

以 上

平成 26 年度 第 9 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成 26 年 12 月 19 日（金）午後 2 時 30 分～午後 4 時 55 分

場 所：片瀬市民センター 第 1 談話室

出席者：委員 18 人（委員現在数 26 人。8 人欠席）

事務局 7 人

<配付資料>

- 1) 平成 26 年度第 9 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議次第
- 2) 平成 26 年度第 8 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成 26 年度第 8 回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会議事録
- 4) 平成 26 年度第 7 回地域福祉部会議事録
- 5) 平成 26 年度第 7 回公民館活用部会報告
- 6) 平成 26 年度第 4 回郷土文化推進部会議事録
- 7) 平成 26 年度第 5 回地域広報部会要旨
- 8) 平成 26 年度片瀬公民館重点目標
- 9) 平成 26 年度片瀬公民館事業
- 10) 平成 26 年度第 3 回地区集会実施企画（検討案）
- 11) 片瀬地区「身近な高齢者支援」活動交流会企画案（片瀬地区小地域ケア会議資料）
- 12) 平成 26 年度地域課題等の検討状況について（課題別ワーキング扱い）
- 13) 平成 26 年度片瀬地区地域活動・課題・まちづくり事業一覧
- 14) 農業被害に対する有害鳥獣保護の実施について（周知）
- 15) 12 月 10 日号回覧一式
- 16) 12 月 25 日号回覧一式

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 報告

- (1) 平成 26 年度第 8 回全体会について

会議内容について、資料 2) に基づき振り返りを行った。

- (2) 各部会からの報告

各部会が、資料 3～7) に基づき部会活動の報告を行った。青少年健全育成部会は、12 月 24 日(水)にクリスマスイベントが開催される旨の連絡があった。公民館活用部会からは、片瀬しおさいセンターふれあいルームの管理対応について、午後 5 時から 9 時 30 分にかけて夜間管理者が計 9 回見回りするようにし、部屋の状況や利用人数等を把握し、またゴミの持ち帰りの周知を行うことで、以前のような器物破損は現時点では起きておらず、今後も継続して同様の管理を行う報告があった。

夜間利用者の内訳は地元出身の高校生が多く、勉強や楽しく語らう居場所であるので、地域で見守っていくことができればと意見があった。また、小学生の居場所については、片瀬しおさいセンター・ふれあいルームの使用状況について小中学校に説明を行い、今後、春休み前までに、小中学校の学校関係者やPTAを含めた関係団体等に集まっていただき、ふれあいルームの利用の実情の把握、問題の捉え方、取り扱いの方向性、担い手など意見交換の場を設けることを依頼した旨の報告があった。

(3) 各地域団体からの報告（トピック）

特になし。

(4) その他

公民館前場職員より、資料8～9)に基づきスライドを用い、平成26年度片瀬公民館事業についての紹介が行われた。また、事業に関係のある地域団体については、事業に関する意見交換を行っている旨の報告もあった。

4. 議題

(1) 第3回地区集会について

資料10)に基づき、地区集会についての企画検討を行った。

まず、事務局から役員会で検討した事項として、第1部をテーマ別ワークショップとし、ワークショップの時間は60分に、テーマはA：郷土ミリョク再発見！作戦会議(仮)、B：もっときれいで住みよいまちに！作戦会議(仮)、C：片瀬公民館の「いいね」！作戦会議(仮)、D：まちの空き家・廃屋対策！作戦会議(仮)の4テーマで行い、終了後に情報共有タイムを持ち、第2部は協議会活動報告と今後の活動計画の説明と意見交換とする企画について説明があり、提案がされた。

テーマAについては、郷土文化推進部会の中で議論したところでは、現在の事業の進捗状況からではワークショップとしてはなじみづらく、他テーマへのメンバーの出席の必要性からも部会員だけでは企画・進行できない結論となった報告があり、このことを踏まえ、今回のテーマAについてはワークショップでは取り扱わないこととした。テーマAの代替案として、医療、介護、生活支援について今後どのようなサービスを提供していくべきか、片瀬地区住民は何を期待しているか、地域の関係団体との連携も含めたワークショップを行う提案・意見も出たが、資料11)にある、各団体を交えて「身近な高齢者支援」活動交流会が、片瀬地区小地域ケア会議で企画されていることもあり、今回の地区集会のタイミングでは取り扱わないこととした。

テーマBについては、テーマを具体的にして、犬のフンやポイ捨て無くそう作戦会議！～大人のマナー・みんなの知恵と力から～、というタイトルにして参加の呼びかけをしたらどうかと意見があげられたが結論は出ず、環境WGでタイトルと内容について検討することとした。

テーマC及びDについては、今回のワークショップで取り扱うこととし、進め方については各部会及び課題検討ワーキングで検討することとした。

チラシの構成・内容は1月の役員会で最終決定し、1月25日号の地域回覧便で各戸配布するとともに、直前の2月10日号の地域回覧便でも回覧配布することとした。具体的な進め方は1月及び2月の全体会で検討することとした。

(2) 課題別検討ワーキングについて

資料12)に基づき、各課題検討ワーキングの活動について、進捗状況の報告及び確認を行った。

No.1「市民の家の利便性向上課題」については、1月中旬に市民の家運営委員会と意見交換を行う予定の報告があった。

No.8「廃屋への対応課題」については、12月8日(月)にガイドラインづくりに向けた検討と、空き家対策特別措置法の内容について確認を行った報告があった。1月19日(月)には、地区集会ワークショップの進め方について検討していく予定の報告があった。

No.9「ごみの持ち帰り、ポイ捨て禁止キャンペーン等の検討課題」については、1月初旬に、地区集会ワークショップの進め方について検討していく予定の報告があった。

小学生の居場所課題については、協議会としての取り扱いの今後の方向性について、波多委員、三觜委員、長坂委員が中心となって整理を進めていくこととした。

また、資料13)に基づき、片瀬地区の地域活動・課題・まちづくり事業について再確認を行った。

(3) その他

特になし。

5. その他

資料14)に基づき、川名谷戸でイノシシによるものと推測される農業被害が出ているため、市農業水産課がわなをしかけて捕獲しようとしていること、周辺の自治町内会長には通知している旨の報告があった。

6. 閉会

以 上

平成 26 年度 第 10 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成 27 年 1 月 23 日（金）午後 2 時 30 分～午後 4 時 20 分

場 所：片瀬市民センター 第 1 談話室

出席者：委員 19 人（委員現在数 26 人。7 人欠席）

事務局 7 人

<配付資料>

- 1) 平成 26 年度第 10 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会次第
- 2) 平成 26 年度第 9 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成 26 年度第 9 回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会議事録
- 4) 平成 26 年度第 8 回地域福祉部会議事録
- 5) 平成 26 年度第 6 回青少年健全育成部会結果報告
- 6) 小学生の居場所課題についての進捗状況
- 7) 平成 26 年度第 8 回公民館活用部会報告
- 8) 平成 26 年度第 7 回まちづくり推進部会要旨
- 9) ふじさわ教育フォーラム（チラシ）
- 10) 平成 26 年度第 3 回地区集会実施企画（案）
- 11) 平成 26 年度第 3 回地区集会次第
- 12) 平成 26 年度片瀬・江の島まちづくり協議会活動報告書（案）
- 13) 平成 27 年度片瀬・江の島まちづくり協議会活動計画（案）
- 14) 平成 26 年度地域課題等の検討状況について（課題別ワーキング扱い）
- 15) まちづくり組織と事業の変遷について
- 16) 平成 27 年度スケジュール・アウトライン案（たたき台）
- 17) 1 月 25 日号回覧一式

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

（1）平成 26 年度第 9 回全体会について

会議内容について、資料 2）に基づき振り返りを行った。

（2）各部会からの報告

各部会が、資料 3～8）に基づき部会活動の報告を行った。なお、地域福祉推進部会が今年度で終了することについて（資料 4），次回全体会で地区社協と小地域ケア会議での検討内容も含めて状況をお示しする予定であること、また、地域広報部会が、ポータルサイト研修会を 3 月 20 日 19 時に実施することについても報告があった。

(3) 各地域団体からの報告（トピック）

- ・（スポーツの会）1月25日の湘南藤沢市民マラソンについて。
- ・（生環協）雑がみの戸別収集品目への追加について。
- ・資料9）3月7日ふじさわ教育フォーラム（片瀬公民館ホール）について。
- ・（支援フォーラム）1月29日、地域の方が講師となり片中1年生を対象に実施するふれあい学習について。2月に小学生を対象に実施するおかし教室について。片中1年生が蝋燭にメッセージを書き、阪神・淡路に送る平和事業について。
- ・（社協）2月6日に片小で実施する児童交流会について。

(4) その他

特になし。

4. 議題

(1) 第3回地区集会について

資料10)に基づき、役員会で検討した地区集会の企画を元に、進め方及び役割の確認を行った。

全体は2部構成で、第1部をテーマ別ワークショップとし、開会、会長挨拶、全体説明のあとワークショップを60分行うこととし、役割については、全体の司会を徳江副会長が、受付は常泉委員、長坂委員が、案内は全委員が、エレベーター誘導は杉山副会長がそれぞれ担当することとなった。

テーマAについては、「ポイ捨てなくそう！きれいなまちに作戦会議～みんなの知恵をチカラから」として、進め方は環境ワーキングで検討を行っており、進行役は三觜委員が、書記役は福島委員が、サポーターは村越委員、田中委員、波多副会長、長坂委員、石倉委員が担当することとなった。

テーマBについては、「片瀬公民館の「いいね」！作戦会議」として、進め方は公民館活用部会で検討を行っており、進行役は鶴見副会長が、書記役は青木委員が、サポーターは杉山副会長、犬山副会長、徳江副会長、田村委員、小池委員が担当することとなった。会場（第2談話室）は、スクリーンを出入口側に設置して映像を流すため、それに合わせてレイアウトを変更することとなった。

テーマCについては、「まちの空き家・廃屋対策！作戦会議」として、進め方は廃屋への対応課題ワーキングで検討を行っており、進行役は岡田委員が、サポーターは原副会長、畠山副会長、高木委員、名古屋委員、藤田委員、常泉委員が担当することとなった。ワークショップ終了後は、休憩をはさみ、情報共有タイムとして、各テーマ3分ずつ発表を行うこととなった。

第2部では、まちづくり協議会の今年度の活動報告、来年度の進め方や計画方針を説明し意見交換を行うこととして、進行・司会は徳江副会長が、発表は犬山副会

長が行うこととなった。意見交換や質問の内容によっては、該当する部会長や課題検討ワーキング座長が説明等の対応することとなった。

資料は、資料 11～13) を配付することとし、資料 12) の活動報告書は、各部会で作成し、次回全体会で確認することとした。資料 13) の活動計画は、平成 27 年度計画の方向性をお示しできる内容にすることとなった。他に配付すべき資料がある場合は、事務局まで連絡することとなった。

(2) 課題別検討ワーキングについて

資料 14) に基づき、各課題検討ワーキングの活動について、進捗状況の報告及び確認を行った。

No. 1「市民の家の利便性向上課題」については、1 月 26 日に主に片瀬浪合市民の家についての検討を行う予定とのことであった。

No. 8「廃屋への対応課題」については、1 月 19 日に地区集会ワークショップの進め方について検討し、次回の 2 月 2 日には地区集会の進め方と当課題の位置づけについて検討を行う予定とのことであった。

No. 9「ごみの持ち帰り、ポイ捨て禁止キャンペーン等の検討課題」については、1 月 8 日に地区集会ワークショップの進め方について検討し、次回の 2 月 17 日は進め方の確認を行う予定とのことであった。

小学生の居場所課題については、これまでの意見交換を踏まえ、資料 6) のとおり、施設運営側、学校、PTA 役員で情報交換の場を持つ予定とのことであった。

(3) 来年度計画について

資料 15) に基づき、まちづくりの組織と事業の変遷について確認を行った。来年度は公募第 1 期の後半であること、再来年度から公募第 2 期が始まること、また藤沢市市政運営の総合指針の中の重点事業として行われていることを確認した。資料 16) に基づき平成 27 年度スケジュールの概要について、地区集会を 2 回開催、まちづくり通信を 3 回以上発行、公募第 1 期の総括を踏まえ、第 2 期に向けて公募委員の募集が行われる計画を確認した。

(4) その他

特になし。

5. その他

ケーブルテレビの市広報番組として、片瀬地区ポータルサイトと広報誌を取材したい旨の要請があり、地域広報部会で対応する予定であることの報告があった。

6. 閉会

以 上

平成 26 年度 第 11 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成 27 年 2 月 12 日（木）午後 6 時 30 分～午後 8 時 12 分

場 所：片瀬市民センター 第 1 談話室

出席者：委員 21 人（委員現在数 26 人。欠席 5 人）

事務局 8 人

<配付資料>

- 1) 平成 26 年度第 11 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会次第
- 2) 平成 26 年度第 10 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 公民館活用部会報告資料
- 4) 平成 26 年度第 8 回まちづくり推進部会要旨
- 5) 平成 26 年度第 6 回郷土文化推進部会議事録
- 6) 平成 26 年度第 6 回地域広報部会要旨
- 7) 片瀬地区社会福祉協議会今後のあり方
- 8) 片瀬地区社会福祉協議会今後のあり方(メモ)
- 9) 片瀬地区社会福祉協議会事業一覧
- 10) 片瀬地区小地域ケア会議活動状況
- 11) 平成 26 年度第 3 回片瀬・江の島地域まちづくり地区集会実施計画
- 12) 平成 26 年度第 3 回地区集会次第
- 13) 平成 26 年度片瀬・江の島まちづくり協議会活動報告書（地区集会版）
- 14) 平成 26 年度片瀬地区地域活動・課題・まちづくり事業一覧
- 15) まちづくり事業及び地域課題の平成 27 年度取り組みの方向性について
- 16) まちづくり地区集会テーマ A ゴミのポイ捨て事前配付資料（案）
- 17) まちづくり地区集会テーマ C 空き家・廃屋事前配付資料（案）
- 18) まちづくり地区集会参加者アンケート
- 19) 平成 26 年度地域課題等の検討状況・平成 27 年度の取り扱いの方向性について
- 20) 平成 27 年度会議日程表
- 21) 平成 26 年度まちづくり通信発行企画（案）
- 22) 2 月 10 日号回覧一式

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

- (1) 平成 26 年度第 10 回全体会について

会議内容について、資料2)に基づき振り返りを行った。

(2) 各部会からの報告

各部会が、資料3～10)に基づき部会活動について報告した。

そのほか、地域福祉推進部会からは、地区社協において、超高齢社会をむかえるにあたり地域福祉を議論する土台として地区社協内で部会の新体制等組織の見直しを含めた地区社協のあり方について検討が進められていること(資料7～9)、小地域ケア会議は、支援活動・組織等の状況の共有化を図り具体的な支援のための連携強化を図っている旨の説明があった(資料10)。

また、公民館活用部会からは、公民館へ要望した結果、片瀬市民センター・公民館1階の女性トイレに児童用便座が設置されたことの報告があった。

(3) 各地域団体からの報告(トピック)

- ・(自主防)2月15日津波避難訓練について。
- ・(生環協)3月5日さかなの放流事業について。

(4) その他

特になし。

4. 議題

(1) 第3回地区集会について

資料11)に基づき、進め方・役割・会場レイアウト等の確認を行い、テーマ別ワークショップで必要な機材がある場合は、事務局まで連絡することとした。

資料12～18)に基づき、配付資料の確認を行い、修正点等があれば2月17日までに事務局に連絡することとし、2月23日から事前配付することとした。

地域課題としてまちづくり協議会として認識するものの移行した担い手や行政が主体的に行うものとして整理した課題について、現在の進捗状況について確認しておくこととした。

各ワークショップの進め方については、各テーマの進行役から説明があった。

- ・テーマAのポイ捨てについては、参加者に地域のポイ捨て課題を書いてもらい、内容の整理を行いながら、全体で意見交換し解決方法を考えていく。
- ・テーマBの公民館については、公民館事業でこんな事業があったら良いのではないかという意見をあげてもらい、最初15分で現在行っている公民館事業をスライドで確認し、その後全体で意見交換を行う。

- ・テーマCの空き家・廃屋については、参加人数によりグループ分けを行ったうえで、小テーマを3つ設定し、グループごとに好きなテーマを選び、知恵を出し合い空き家・廃屋対策集を作る方向でグループ・ディスカッションを行う。

(2) 課題別検討ワーキングについて

資料19)に基づき、各課題別検討ワーキングの活動について、座長より報告がされた。

- ・No.1「市民の家の利便性向上課題」については、1月26日に市民の家について検討し、来年度も引き続き利便性向上に向けて、主に鍵の授受、予約方法等についての検討を行っていく。
- ・No.8「廃屋への対応課題」については、国・市の動きを注視し来年度も引き続き検討を行っていく。
- ・No.9「ごみの持ち帰り、ポイ捨て禁止キャンペーン等の検討課題」については、2月28日の地区集会ワークショップで挙げられる意見を整理し、今後の進め方について検討を行っていく。
- ・小学生の居場所課題については、3月6日に関係者と意見交換会を行っていく。

(3) 来年度計画について

資料20)に基づき、来年度日程について確認を行った。地区集会を2回開催し、まちづくり通信は4回の発行を予定、5月25日に市長との意見交換会を行い、終盤では公募第1期の総括を踏まえて、第2期の組織づくりに向けて公募委員の募集を行っていくことを確認した。

(4) まちづくり通信について

資料21)に基づき、まちづくり通信第14号、15号のスケジュールについて確認を行った。内容については、第14号は地区集会報告の特集、第15号は平成26年度まちづくり活動報告の特集としていくことを確認した。

5. その他

特になし。

6. 閉会

以 上

平成 26 年度 第 12 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成 27 年 3 月 19 日（木）午後 2 時 30 分～午後 4 時 15 分

場 所：片瀬市民センター 第 1 談話室

出席者：委員 19 人（委員現在数 26 人。欠席 7 人）

事務局 8 人

傍聴 2 人

<配付資料>

- 1) 平成 26 年度第 12 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会次第
- 2) 平成 26 年度第 11 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成 26 年度第 10 回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 4) 平成 26 年度第 11 回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 5) 青少年居場所事業「青少年サポーター養成講座！！」実施結果
- 6) 小学生の居場所課題について
- 7) 平成 26 年度第 9 回公民館活用部会報告
- 8) 平成 26 年度第 7 回地域広報部会要旨
- 9) ～郷土文化推進部会からのご報告～一遍上人地藏堂跡絵巻物看板設置
- 10) 2015 年 4 月・5 月片瀬地区事業予定表
- 11) 平成 26 年度第 3 回地区集会参加者アンケート結果
- 12) 平成 26 年度第 3 回地区集会議事録
- 13) 平成 26 年度地域課題等の検討状況・平成 27 年度の取り扱いの方向性について
- 14) 平成 26 年度片瀬・江の島まちづくり協議会活動報告書
- 15) 平成 27 年度片瀬・江の島まちづくり協議会活動計画（案）
- 16) 片瀬・江の島まちづくり協議会平成 27 年度スケジュール調整表
- 17) 平成 27 年度会議日程表
- 18) 2 月 25 日号回覧一式
- 19) 3 月 10 日号回覧一式
- 20) 3 月 25 日号回覧一式

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

(1) 平成 26 年度第 11 回全体会について

会議内容について、資料 2) に基づき振り返りを行った。

(2) 各部会からの報告

各部会が、資料3～10)に基づき部会活動について報告した。

地域広報部会からは、片瀬地区で行われる事業日程の情報提供を行うために、資料10)を3月中にポータルサイトに掲載する説明があった。内容について訂正があれば3月25日までに事務局まで連絡することとした。

(3) 各地域団体からの報告（トピック）

- ・（生環協）4月からの雑がみの出し方と日程変更について。4月18日開催のグリーン活動の参加について。
- ・（支援フォーラム、青少協、防犯）不審者情報の扱いについて。

(4) その他

特になし。

4. 議題

(1) 第3回地区集会について

資料11～12)に基づき、地区集会のアンケート結果と議事録の確認を行い、各テーマの進行役からはワークショップの振り返りがあり、今後の地区集会のあり方について議論を行った。

<進行役振り返り>

- ・テーマAのポイ捨ては、主に観光地のゴミの持ち帰り問題、路上喫煙禁止区域の制定について参加者と意見交換を行うことができた。犬のフンの放置については、狂犬病予防注射の際に配付されるチラシに飼い主のマナーについて小さく記載されているので、もっと目立つように記載するよう意見提案を行い、生活衛生課からは目立つように記載する努力する返事をいただいた。5月中にワーキングメンバーと保健所に行き、飼い主のマナー向上の指導についてなど意見交換を行う予定の報告があった。
- ・テーマBの公民館は、ワーキングの時間が少なく感じた。地域の方と意見交換する場が少ないので、地区集会は意見を聞く場として有用だと感じた。
- ・テーマCの空き家・廃屋は、法改正についての説明で15分かかったが、きちんと説明をするには40～45分ほど時間が必要であると感じた。参加者は当事者意識があるので各々課題を持っており、その課題を受け入れるための時間に1時間は必要なので、トータル2時間は必要と感じた。地区集会とは別の日にじっくりやる方が参加者は満足されるのではないかと感じた。

<委員意見>

- ・今後の地区集会におけるワークショップの取り扱いについては、地域の方の意見を吸い上げる場としてワークショップは必要なので毎回行うべき意見が挙げられた。また、地区集会と日時を変え、市の説明も含めてワークショップを行ったかどうか、という意見も挙げられた。

(2) 課題別検討ワーキングについて

資料 13) に基づき、各課題の平成 27 年度取り扱いの方向性について確認を行い、座長より活動報告と今後の方向性について説明がされた。

- ・No. 1「市民の家の利便性向上課題」については、耐震化の課題を注視するとともに、利便性の観点にこだわらず、地域のコミュニティ広場や地域の集会場としてどのように利用し、管理していくか今後検討を進めていく。
- ・No. 8「廃屋への対応課題」については、地域・自治町内会・行政を交えて、来年度も引き続き課題に取り組んでいく。
- ・No. 9「ごみの持ち帰り、ポイ捨て禁止キャンペーン等の検討課題」については、ワークショップで挙げられる意見を整理し、課題解決に向け検討を進めていく。

以上の課題別検討ワーキングについて、部会報告と同様に報告を行うこととした。協議事項があれば、役員会期日までに申し出て、事前に役員会で検討し、必要あれば座長が役員会で説明を行うこととした。

(3) 来年度計画について

資料 15～17) に基づき、来年度日程について確認を行った。地区集会を 2 回開催し、地区集会とは別にワークショップを行うかどうかは今後検討を行っていくことを確認した。

(4) まちづくり通信について

まちづくり通信第 15 号は、3 月 18 日までに指摘のあった事項を修正し、4 月 10 日号回覧で各戸配布されることを確認した。

5. その他

特になし。

6. 閉会

以 上